

指定校番号	28035	学級活動	児童会・生徒会活動	<input type="radio"/>	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	-----------------------	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	上安小学校	校長	山本 伸生	生徒指導主事	保田 深雪
-----	-------	----	-------	--------	-------

**取組事例名 『平和集会』**

**取組のねらい『キーワード 平和』**

平和集会で、縦割りグループや地域・保護者の方も交えて、折り鶴作りをすることで、協力をするこ  
との大切さや、平和の大切さについて考えることができるようにする。

**取組の具体的内容『キーワード みんなで』**

6月14日の児童朝会と7月8日の平和集会の時に、縦割りグループ（全40班）で、折り鶴作りを  
した。その時に地域の方や保護者の方もグループに入ってもらい、作り方を教えていただいたり、一  
緒に作っていただいたりした。また、上学年の児童が下学年の児童に折り方を教えながら折っていった。



**取組の課題・創意工夫『キーワード 関わり合い』**

工夫①異学年交流をすることで、必然的に教えたり教えもらったりするなどの関わり合いの活動がで  
きるように仕組む。

②地域の方に一緒に活動していただくことで、平和への多くの人の願いが込められた取組であるこ  
とを意識させる。

課題①折り方をスムーズに教えたり教えられなかったりできないグループがあるので担当教員が助言する。

②さらに関わりが深まるような他の取組について検討していく。

**取組の成果（効果）『キーワード 平和の実感』**

縦割りグループでの活動を通して、異学年で教えたり教えられたりすることで、上学年の児童は自信  
を持つことができ、下学年の児童は、安心して折り鶴作りをすることができた。また、地域の方が一緒  
に折ってくださることで、交流も深まり児童全員が安心して取り組むことができた。異学年の児童や地  
域の方と協力して折り鶴を折る活動を行うことで、『平和』を体感することができる取組となった。

本校の学校評価アンケートで、学校が楽しいと感じている児童や保護者が9割となっているが、異学  
年での交流もその要因の一つであると考えられる。



## 今後の展開『キーワード なかよし』

縦割りグループでの体験を他の場面でも利用していくために、普段より20分程度長い昼休憩に、グループでの遊びを行うことにした。いろいろな活動で異学年交流を仕組むことにより、それぞれの児童が自己存在感を高めていくことにつなげていきたい。

## 他校へのアドバイス『キーワード 気軽に』

縦割りグループの活動は、時間の確保や、事前準備などが大変で、取り組むのが困難なイメージがあるが、いろいろな行事に組み込むことにより、活動に要する時間や事前の準備を可能な限り押さえた上で、効果的にねらいを達成することができる。

